

HOT NEWS OF JAPANESE NUTRITION/HEALTH INDUSTRY**June16-30, 2007**

First Bland 社が「Ms.Mr.ROSE」という商品により新しい試みを開始した。「Ms.Mr.ROSE」は、ローズエキスと植物性乳酸菌を主原料としており、口臭 + 体臭に対応した商品である。パッケージの表面では女性に向けてのメッセージを、裏面では男性に向けたメッセージを発信している。男性の体臭予防をターゲットとした商品では、カネボウフーズの「オトコ香る」が昨年話題となり、発売後わずか1ヶ月で生産が追いつかず販売を見合わせる事になった。今年3月にはリニューアル品を首都圏にて販売再開、4月には1都6件に販売エリアを拡大、再発売後2ヶ月で初年度販売目4億円標を達成した。コンビニエンスストアにおいては、4月の販売額はガムの中でトップとなり(シェア8%)、77,244千円(544,355個)を売り上げた。これを受けて5月にはロchetteから「メンズスタイルガム」と男性向け商品が発売された。

一方、化粧品市場の中でもメンズコスメは年々成長しており、今年はDHCから「DHC for MEN」が、ファンケルから「ファンケルメンズ」が新発売されるなど、新規参入が活発である。これらの背景には、自分自身の「美」に対して投資をする男性が増加していると考えられる。そして今後も増加していくと思われる。

男性向けダイエット食品での成功は難しいと言われているが、これらの事例からヒントは得られる。従来の男性向け商品は、生活習慣病予防、メタボリックシンドローム対策、など凡そ「美」とは程遠い。メンズエステのダイエット・プログラムに通う男性は増加している。ウェイト・マネジメントと「美」を関連付けた提案ができれば、不毛と言われたこのマーケットも活性化するのは、

米国の男性向けダイエット・プログラムで成功しているNutriSystem社の広告は、セクシーでダンディな男性がモデルとなっている。

NEW PRODUCTS**カゴメ、食べるラブレ「植物性乳酸菌ラブレ ヨーグルトタイプ」を発売**

カゴメ株式会社は、「植物性乳酸菌ラブレ ヨーグルトタイプ」を2007年7月10日から近畿エリア、7月24日から九州エリアにて先行発売する。昨年発売した「植物性乳酸菌ラブレ」と同様に京都の伝統的な漬物から発見された植物性乳酸菌ラブレ菌を使用し、大豆などの植物素材を主体に組み合わせた。砂糖、甘味料は一切使用していない。価格は、115円/110g

(2007年6月18日 カゴメ株式会社 プレスリリース)



エムアウト、ダイエットを意識する女性向けに「夏の低カロリー - 大満足セット」を発売

株式会社エムアウトのインターネット専門のデリカテッセン(惣菜店)「Wish on Dish」を展開するフードデザイン事業部では、夏に向けて女性をターゲットにした「手軽に」「ラクして」「キレイ」を手に入れる低カロリーの新しい惣菜セットを販売する。同品は、レンジか湯煎で温めるだけで食べられ、使っている食材は全て無添加にこだわった。1品平均約200kcalに抑えている。1品あたり480~680円で販売される。



(2007年6月19日 株式会社 エムアウト プレスリリース)

エルビー 「朝の1食、野菜ヨーグルト」を発売

アサヒビール子会社のエルビーは、7月31日1個で1食分の緑黄色野菜を摂取できる「朝1食 野菜ヨーグルト」を関東甲信越と東北の1都15県で発売する。ヨーグルトに野菜汁と新たに発見した植物性乳酸菌「LbP1-4」を配合している。植物性乳酸菌「LbP1-4」は、アサヒビールとアサヒ飲料が共同研究で発見した。野菜が発酵する際に生じる臭みを和らげる効果がある。同品に含まれる野菜汁は、ニンジンのほかレタス、ピーマン、カリフラワーなど21種類。1個につき40g分の野菜汁を含み厚生労働省が定める1日当たりの目標摂取量の1/3を摂取できる。希望小売価格は、120円。



(2007年6月20日 アサヒビール株式会社 / アサヒ飲料株式会社 プレスリリース)

小林製薬、「EDICARE」を発売

小林製薬株式会社では、健康維持食品「EDICARE(エディケア)」を6月21日より通信販売限定で発売する。同社は、同製品の特許を持つスイスのホーファリサーチ社と契約し、日本での販売権を取得。米国特許の「アルギニン+ピクノジェノール(R)」をもとに、日本人向けに処方方を改良し販売する。同特許技術を応用したサプリメント「Prelox」は、全世界35ヶ国で利用され現在までに250万個の販売実績を持っている。価格は1ヶ月分で12,000円となっている。



「EDICARE(エディケア)」
10g(300mg×130粒) / 12,000円(税込12,600円)

また、同社は「L-カルニチン」も同日、通販限定で新発売する。1粒あたりL-カルニチン108mg含有。着色料、香料、保存料は一切使用していない。1ヶ月分1,995円で販売する。



「L-カルニチン」
30g(250mg×120粒) / 1,995円(税込2,095円)

(2007年6月21日 小林製薬株式会社 プレスリリース)

アサヒ飲料、ビタミン飲料「アサヒ 赤いビタミンウォーターPET350ml」を発売

アサヒ飲料株式会社は、ビタミンやポリフェノールなどの健康成分を含む赤い果実に着目したビタミン飲料「アサヒ 赤いビタミンウォーター PET350ml」を7月10日より全国で新発売する。同品は、4種類の赤い果実(アセロラ、ローズヒップ、カシス、クランベリー)を使用。3種類のビタミン(ビタミンC・ビタミンB6・ナイアシン)を配合して



「アサヒ 赤いビタミンウォーター PET350ml」

いる。果実由来のポリフェノールも配合しており、加齢や健康を意識する消費者をターゲットとしている。100ml あたり 17kcal のカロリーオフの飲料となっている。希望小売価格は 150 円。

(2007 年 6 月 21 日 アサヒ飲料株式会社 プレスリリース)

ヤマザキナビスコ、「乳酸菌 イン ウエハース」と「GABA IN ウエハース」を発売

ヤマザキナビスコ株式会社は、機能性素材の乳酸菌と GABA を配合した「乳酸菌 イン ウエハース」「GABA IN ウエハース」の 2 品を発売する。乳酸菌は植物性乳酸菌を使用、1 パック(2 枚)当たり 1 億個を含有、オリゴ糖も 0.65g 配合している。含有している GABA は 1 日あたりの摂取推奨量 70mg/2 枚が配合されている。価格は、8 枚入り 156 円。



また同社では、GABA 入りチョコチップを練りこんだ小粒クッキー「チョコチップクッキー GABA in」と「アーモンドクッキー 豆乳」も同日発売する。「チョコチップクッキー GABA in」には、1 袋に 80mg の GABA が含有されており、「アーモンドクッキー 豆乳」には、大豆イソフラボンが 1 袋 10mg 含有されている。いずれの商品も 105 円 / 45g で販売される。

(2007 年 6 月 22 日 ヤマザキナビスコ株式会社 プレスリリース)



ハウスウェルネスフーズ カロリーオフの炭酸飲料「C1000リフレッシュ(レモン&ライム)」発売

ハウスウェルネスフーズ株式会社は、C1000 ブランドの炭酸飲料として「C1000リフレッシュ <レモン&ライム>」を 6 月 25 日より全国で発売する。1 本でビタミン C1000mg (レモン 50 個分) が摂れ、100ml あたり 19kcal のカロリーオフ飲料となっている。140 円 / 500ml で発売される。

(2007 年 6 月 22 日 ハウスウェルネスフーズ株式会社 プレスリリース)



エイボン J、サプリメント「エイボン インナー バランス 植物性乳酸菌ミックス」を発売

エイボン・プロダクツ株式会社は、有機・無農薬栽培の大豆で育った植物性乳酸菌を使用したサプリメント「エイボン インナー バランス 植物性乳酸菌ミックス」を 7 月 25 日より発売する。本品には、佐賀県産の有機・無農薬栽培大豆がベースの菌床で育った植物性乳酸菌「ラクトバチルス・ファーメンタム」と母乳に含まれる物質「ラクトフェリン」を配合している。4,900 円(約 2 ヶ月分)で販売される。

(2007 年 6 月 28 日 エイボン・プロダクツ株式会社 プレスリリース)



アサヒとカゴメ、トマト果汁入り低アルコール飲料「アサヒトマーテ」を発売

アサヒビール株式会社とカゴメ株式会社は共同開発第一弾の商品として完熟トマトのカクテル「アサヒトマーテ」を 9 月 4 日より全国でアサヒビールが販売開始する。缶入りのトマト果汁入り低アルコール飲料という新しい市場の創出を目指しており、両社は、



今年2月に業務、資本提携をかわした。同品は、カゴメの多種多様なトマト果汁の特性、その取扱い技術とアサヒビールのアルコールのブレンド技術を融合して開発された。335ml 入り缶飲料で希望小売価格 187 円となっている。

(2007 年 6 月 29 日 アサヒビール株式会社 / カゴメ株式会社 プレスリリース)

日清ファルマ、血圧が高めの人向けにウメ風味の「サーデンペプチド ドリンク」を発売

日清ファルマ株式会社は血圧が高めの人を対象に特定保健用食品「サーデンペプチド ドリンク」を 7 月 10 日から通信販売ルートで発売する。「サーデンペプチド ドリンク」はイワシから抽出した成分であるサーデンペプチドを配合したウメ風味のドリンク商品。サーデンペプチドに含まれているバリルチロシンという成分が体内で血圧を調節している酵素の作用を阻害し、血圧上昇を抑制する。一箱(50mlx10 本)3,675 円で販売する。

(2007 年 6 月 29 日 日清ファルマ株式会社 プレスリリース)

東洋インキ製造、「ササエキス」を使用した「リオナチュレ ササ・ピュア」などを販売

東洋インキ製造株式会社は、クマザサを独自製法により抽出したササエキスをういた健康食品の販売を 7 月 2 日より開始する。これまで、同社では、このササエキスをを使用したマスク、フィルター、家畜用飼料を製品化、販売を行ってきた。今回、ササエキスに含まれる有用成分であるササオリゴ糖やササポリフェノールを生かし「リオナチュレ ササ・ピュア」「リオナチュレ ササエキス 顆粒」を製品化し販売を実施する。インターネット販売と同社の販売網を利用した得意先への販売に限定される。

(2007 年 6 月 29 日 東洋インキ製造株式会社 プレスリリース)



腸内環境を整え、ローズオイルを吸収 「Ms. Mr. ROSE」を発売

First Brand は、ダマスクローズオイルと植物性乳酸菌などを配合したサプリメント「Ms.Mr. ROSE」を 7 月 25 日より店頭で発売する。同社ホームページ上では 6 月 1 日から先行販売を行っていた。同品は一粒にバラ約 26 本分のダマスクローズオイルとヨーグルト約 240g 相当の植物性乳酸菌「EL-SW 菌」を配合。またオリーブオイル、アスタキサンチンなども含有している。腸内環境を整え、バラの香りで口臭、体臭を改善するサプリメントとしてアピールしていく。価格は 3,780 円 / 30 粒。

(2007 年 6 月 First Brand HP)



COMPANY NEWS

大塚製薬、栄養補助食品専用の自動販売機「ウェルネスベンダー」を 6 月から展開

大塚製薬は、同社製の栄養補助食品を専用に扱う自動販売機の設置を進める。多忙な消費者が手軽に商品を購入できるようオフィス内や学校、スポーツ施設などに導入する計画。6月より東名阪を中心に展開を開始する。2007年度中に1,000台、数年内に1万台の設置を目指す。同社は、一部の清涼飲料の自販機で「カロリーメイト」を販売しているが、栄養補助食品専用機は初めてとなる。自販機では、大豆を丸ごと粉にして使った「SOY JOY」と8種類のカロリーメイトを扱う。販売価格はカロリーメイト210円、SOYJOY120円となっている。

(2007年6月18日 大塚製薬株式会社 プレスリリース)

独、メルク、栄養機能食品「BION3」の日本での独占的販売権を佐藤製薬に供与

メルク株式会社の親会社である Merck KGaA 社は同社のコンシューマー・ヘルスケア事業部が取り扱っているプロバイオティクス、複合ビタミン、ミネラルを組み合わせた栄養機能食品 BION(R)の日本での独占的販売権を佐藤製薬株式会社に供与したと発表した。BION(R)は、プロバイオティクス、複合ビタミンおよびミネラルを独自の製法で組み合わせた商品で、現在世界30ヶ国で販売されている。

(2007年6月18日 メルク株式会社 プレスリリース)

ヤクルト、7月からカナダ・バンクーバーで「ヤクルト」のテスト販売を開始

株式会社ヤクルト本社では、カナダのバンクーバーで「ヤクルト」のテスト販売を2007年7月より開始する。同社では、米州地域において1968年のブラジルを皮切りにウルグアイ、メキシコ、アルゼンチン、アメリカで「ヤクルト」を販売している。今回、カナダでの「ヤクルト」販売開始により米州地域6ヶ国目、全体では海外28の国と地域に販売網が広がることになる。バンクーバーのアジア系スーパーマーケットで「ヤクルト」のテスト販売を行い、カナダへの本格販売に備える。

(2007年6月20日 株式会社 ヤクルト本社 プレスリリース)

カルピスとNITE、モンゴルで微生物の食品への利用可能性を探る産官共同事業を開始

独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)とカルピス株式会社は、モンゴルの発酵乳などから分離された微生物(乳酸菌や酵母)を現地で収集し、食品への利用可能性を探る産官共同事業を7月に開始する。モンゴルで探索、収集した微生物は日本に移転されカルピス社において研究開発に利用された後、NITEから産業界等への供給が可能となる。収集した微生物は生物多様性条約に基づき、研究成果により得た特許登録および商品化に至った場合はNITEを通じて収益の一部をモンゴルに還元する。乳酸菌は、整腸作用だけでなくカルピス社の研究から血圧調節作用、抗アレルギー作用、睡眠の質、保湿、美肌効果など幅広い生理機能を持つことが解明されており、今後、抗ストレス、抗メタボリックシンドローム、アンチエイジングなどの分野においても可能性があると考えられている。

(2007年6月28日 カルピス株式会社 プレスリリース)